２０２３年 天濃池ビオトープの会夏の活動報告
（精華高校協働活動）

天濃池は昭和３５年（1960 年）に築堤されたため池です。

平成９年（1997 年）から行われた改修工事の際に堺市・大阪府・市民が共同で「天濃池ビオトープの会」を結成し水草の移植や浮島つくりなど、動植物が生息できる環境作りを行っています。

８月２８日（月）には、「天濃池ビオトープの会」の夏の活動として、地元の精華高校の３年生（２１名）にビオトープの説明を行い、草刈りや外来種の駆除を行いました。

ビオトープについての説明内容です。
天濃池の特殊性について
・植林地ではなく多様な広葉樹の中高木を中心とした「自然植生」が育まれた山林に囲まれた生物多様性が豊か。
・ため池と湿地という多様な水環境がある。そして、全国的に急速に減少している草地環境が維持できている。
・広葉樹林の山林、水環境、草地という異なった環境の多様な組み合わせとそれぞれの境界：エコトーンが存在する生物多様性に優れた特殊で希少な場所・空間となっている。

今の時期に関連した情報について
・今年の 6 月 1 日に「条件付き特定外来生物法」が施行された。
・アメリカザリガニとアカミミガメの特定外来生物に指定するに当たっての特例を知っておいて欲しい。
・飼育中のものは、そのまま飼育で良く届け出不要であるが、野外への放出は禁止。
・友人、団体への譲渡も可能で、届け出も不要。等

ビオトープの説明風景

草刈りや外来種の駆除の作業の様子です。

・水辺や池法面の動植物観察。

・ブルーギル、ウシガエルのオタマジャクシやアメリカザリガニなどの外来生物の駆除。（ブルーギル・約 100 尾、ウシガエル幼生・約 10 尾、他。）

・池の堤の草刈り作業。等

外来種の採取

草刈り

外来種の駆除

アメリカザリガニ

ブルーギル

スクミリンゴガイ

作業の風景

見かけた生きもの達

チョウトンボ

シオカラトンボ

ダイミョウセセリ

天濃池ビオトープの会からの出席者６名（宮本さん、田中さん、小西さん、米道さん、野口さん、垣井）。

報告・写真：垣井清澄